

2. 総合的目標達成度

薬学科の卒業認定・学位記授与の方針(ディプロマ・ポリシー:DP)は、本学の建学の精神と教育理念に基づいて総括的にまとめた学位授与の方針であり、その内容は「薬剤師として求められる 10 の基本的な資質」および本学独自の教育内容である「統合医療の理解と実践」の計 11 項目を本質的に包含している(表 1)。

そこで、本学が卒業時に求めるこれら 11 項目について、各学生の学習進捗状況に応じて学修の成果と具体的に関連づけて評価が行えるように、総合的な学修の「一般目標」、「主な関連科目」、および「総合的目標達成度の観点と評価のための指標」を明示した。

卒業までに身につける 11 の力

- ① 薬剤師としての心構え
- ② 患者・生活者本位の視点
- ③ コミュニケーション能力
- ④ チーム医療への参画
- ⑤ 基礎的な科学力
- ⑥ 薬物療法における実践的能力
- ⑦ 地域の保健・医療における実践的能力
- ⑧ 研究能力
- ⑨ 自己研鑽
- ⑩ 教育能力
- ⑪ 統合医療の理解と実践

【ディプロマ・ポリシー : DP と 11 の資質の関係】

ディプロマ・ポリシー		総合的目標達成度の観点
DP1 (知識)	薬に関する基礎的知識に加え、生活習慣病の治療と予防、セルフメディケーションおよび臨床に関する専門的知識を修得している。	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
DP2 (技能)	医療の現状について理解を深め、社会や他者と適切なコミュニケーションを図りながら、薬学の専門家として医療に積極的に参画できる実践的能力を修得している。	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
DP3 (態度)	患者や生活者の立場に立って、豊かな人間性と生命の尊厳について深い認識をもち、自ら考え、医療人として責任を持った行動を取ることができる。	①②③④⑤⑥⑦⑧⑩
DP4 (問題発見・ 解決能力)	薬学の専門家として教育・研究を遂行する意欲と態度を持って自己研鑽に励み、思考力・判断力・表現力を身につけて、問題を解決することができる。	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪
DP5 (統合医療の 理解と実践)	西洋医学とともに、日本の伝統医学である漢方医学の考え方を取り入れた「統合医療」を理解し実践できる知識と技能を身につけている。	①⑤⑥⑪